

大豊村の概要

位 置	東經 133度37分	北緯 33度56分
面 積	316.19平方杆	東西 32杆
	南北 28杆	部落數 88
人 口	13,762 男 6,331 女 7,131	
世帯數	3,870 (10月末現在)	



昭和44年12月10日 発行

全 世 帶 配 布

編 集 館 報 大 豊 編 集 委 員 会
 発 行 大 豊 村 中 央 公 民 館
 印 刷 高 知 印 刷 株 式 会 社

農構改善事業費など
五千六百余万円を措置

九月定例大豊村議会は二十九日開会、六日間の会期で補正予算五千六百十九万七千円（累計五億五千九百三十六万一千円）など可決閉会。越えて十月十三日には臨時議会を開き、懸案となっていた一般農道廃谷線開設工事請負契約締結案など審議決定しました。

本定例議案第百十二(回)額は、五億五千九百二十六万一千円の超大型の規模となるものである。今回の補正の内容は村開発振興総合計画並びに本年度の重点施策に基づき、国、県等の見通し関係で措置できなかったもの、即ち、農機改善事業費二千五百四十六万三千元、塵くずれ防止対策事業費四千九百十九万、辺地整備事業並びに基幹生活道整備事業等で道路費千六百五十二万四千元、集落補強事業費二百八十万円、農

林施設公共土木施設災害復旧事業費二百二十二万五千円その他学費校費、農業振興費、物件費等を本年度の行財政運営の実情にてらして措置したことによるもの。

これに対する歳入として村税百八万四千元、地方交付税(特別交付税)三百五十九万六千四百円、国、県支出金二千六百四十万円、繰入金二千六百四十万円、金(財政調整積立金取りかずし)四百万円、寄付金九百四十九万九千円、村債一百四十九万九千円、村債一

本定例議案第百十二(回)額は、五億五千九百二十六万一千円の超大型の規模となるものである。今回の補正の内容は村開発振興総合計画並びに本年度の重点施策に基づき、国、県等の見通し関係で措置できなかったもの、即ち、農機改善事業費二千五百四十六万三千元、塵くずれ防止対策事業費四千九百十九万、辺地整備事業並びに基幹生活道整備事業等で道路費千六百五十二万四千元、集落補強事業費二百八十万円、農

林施設公共土木施設災害復旧事業費二百二十二万五千円その他学費校費、農業振興費、物件費等を本年度の行財政運営の実情にてらして措置したことによるもの。

これに対する歳入として村税百八万四千元、地方交付税(特別交付税)三百五十九万六千四百円、国、県支出金二千六百四十万円、繰入金二千六百四十万円、金(財政調整積立金取りかずし)四百万円、寄付金九百四十九万九千円、村債一百四十九万九千円、村債一

教育委員に岡林氏

委員長は小笠原氏が



岡林良治氏

◆昭和四十四年度大豊村一般会計補正予算決定に関する議案

追加補正額は五千六百十九万七千円で本年度の累計

振興計画の一環である西の住民センターとしての役割を果たすものとなります。

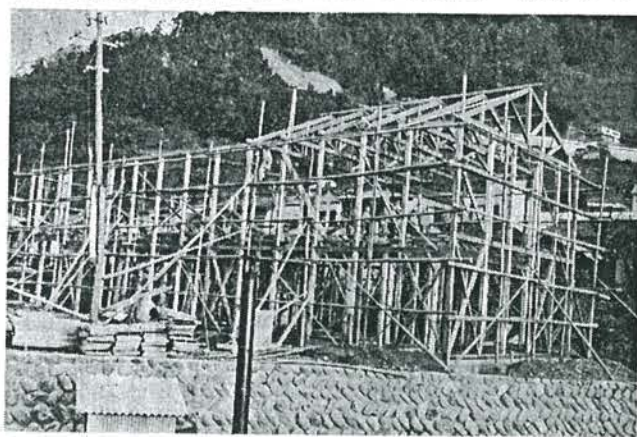
大豊村教育委員岡林良治氏は九月三十日をもって任期満了となりましたので、新たに議会の同意を得て同氏が再任されました。

岡林氏は、馬瀬出身で昭和三十一年大豊村議会議員

西豐永地区公民館

東土居に建築を急ぐ

現場は東土居国道32号線沿いの豊永砂防詰所隣りに建築するもので、これが完成しますと、公民館のほか、西豊永支所、大豊村農協西豊永支谷組が担当、完成は二月三十日となっております。



工事が進む西豊永地区公民館

本年度当初において健全財政を堅持しながら一連の重点施策を積極的に推進することを約束したが、遺憾ながら年度半ばにおいて財源を使い果たし健全財政堅持の施政はくづれ、本村財政再建完了以来の重大な危機に直面するに至ったことに對し責任を痛感するがその反面、急速な木村整頓、住民福祉の先行投資とともいえるわけで今一度考えを新たにし、今後これが對策に万全を期し村民の附託に応えたい。

◆農道開設工事分担金徴収
 農業構造改善事業として開設する農道については、従来、土地改良区を事業主体として実施していたが、県の要請により本年度から村が事業主体となるため開設工事に要する分担金の徴収について規定するもの。

◆大豊村手数料条例の一部を改正する条例議案
 住民登録について住民基本台帳法が公布施行されたことに伴い、住民登録に関する様式が改正された為、手数料条例の用語及び手数料を改正するもの。

命同意議案
 教育委員岡村良治氏が九月三十日をもって任期満了

結核
 予防

主婦

“ 一声運

結核患者は、まだまだ住民60・70人に一人の割合でいます。中高年令者の人たちに特に多く、60才以上では、なんと25人に一人いると云われます。

ところで、水島の患者は一万二千二人と見込まれますが、みつかつていられるはその半分の六千人たらず

の手で
動“に期待
予防婦人
会が発足

です。しかも、たちの悪い
ことには、かかっているも
本人は自覚症状が少なく、
その上結核菌は、セキやク
シャミで空気伝染しますか
ら、いつどのようにして感
染するかわからない状態
です。

結核根治に必要なのは、
全村民が一人のこらず、年

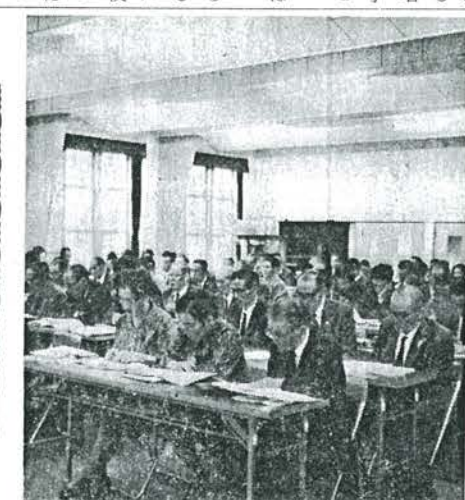
男子、三谷俊美、秋山和子
(西峰、大田口、岩原の三
校下会長は未定)

農業セシサス

来春二月一斉に実施

国際連合食糧農業機構で
は「経済統計に関する国際
条約」にもとづき、十年に
一回世界各国が一斉に農業
センサスを実施します。

わが国でも昭和二十五年
から十年おきに実施してお
り、来年はその三回目とな
ります。調査の期日は二月一日とな
っています。皆さん御協力
をお願いします。(統計係)



会竹障に原生成野①



全力をつくして

民主的教育行政を推進

て本村の最大の課題は児童生徒の減少と多くの老朽校舎を擁していることであり、すでに適正規模に編成した新生大豊中学校、豊永小学校の建築は村の発展と教育振興に果たす役割の大きなものがある。

今後は国、県の動向に充分対応し、又村の産業経済とあいまって急を要する給食センターに依る村内各校の完全給食実施、へき地校の整備充実

見、よく聞き、よく話し合
いをもつて民主的教育行政
を行ないたいと考えるま
すので今後とも村民各位
の絶大なる御指導、御協
力をお願い申し上げ、紙
上をかりましてごあいさ
つをいたします。

以下三名、母子相談員三名
村内駐在保健婦、老人ク
ラブ代表七名等が集まり、百
名近い人員で実のある研修
会がもたれました。民生委
員は社会奉仕の精神に徹し
人格、識見、公平、自由、
親切、秘密保持等、桌側よ
り民生委員の責務について
のべられ、児童相談所長の

ができました。この会はずでに全国的な組織に広がっていきなす。

教育文化に重大なる変化をもたらしつつあります。これがため高く広い視野に立つて本村の教育行政にあたりたいと考えます。

現今の義務教育において

全力をつくす

民主的教育

あると確信いたしております。

更に文化センターたる中央公民館の改造、西豊永地区公民館の建築は今後の社会教育の基盤であり、特に次代を背負う青少年諸君の積極的活動をして

行政を推進

を圖つて教育の機会均等を期し、複式學級の運営、更に小中学校の統合、社會教育、文化財の保護等、教育全般に意をもちつつ、村の特性を生かし、流動する社會に對処し教育の振興に全力をつくす覚悟であります。

これらの教育行政にあつては広く村民の皆さ

民生(児童)委員
43名が研修会
本年度の上長郡大豊プロ
ック民生(児童)委員研修
会が十月八日、中央公民館
で開かれました。
この日、村内五十一名の
委員中四十三名が出席、兄
童家庭課、社会福祉協議会
等関係から、十三名、村長、
議長、教育民生常任委員ら

「ところが、村や保健所が公費で年に二回も実施している検診を一度も受けない人が全体的には三〇％前後あり、多くの問題をなげかけています。

そこで結核退治の「きめては、家庭の健康をあず

民生（児童）委員
43名が研修会

43名が研修会

「ところが、村や保健所が公費で年に二回も実施している検診を一度も受けない人が全体的には三〇％前後あり、多くの問題をなげかけています。そこで結核退治の「きめては、家庭の健康をあず

結核
予防
主婦の手で

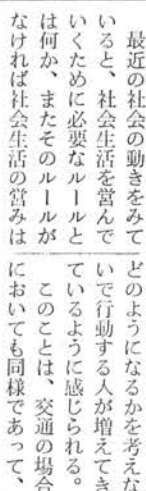
「一言重功二月寺
予防会が

The diagram illustrates a two-stage sampling process. At the top, a large circle is labeled 'N'. Inside this circle is a smaller circle labeled 'n'. Inside the 'n' circle is a small circle labeled 'm'. Arrows indicate the flow from the population 'N' to the sample 'n', and from the sample 'n' to the subsample 'm'. The text 'Stage 1' is written to the left of the 'N' circle, and 'Stage 2' is written to the left of the 'n' circle.

100

Age Group	Percentage
18-29	85%
30-49	80%
50-69	75%
70+	70%

The diagram illustrates a two-dimensional lattice structure. A central point is labeled i . A bond connecting it to a neighboring point is labeled b . A unit vector along this bond is labeled e_b . A distance r is indicated between two points.



ルールの根元指導を

最近の社会の動きをみていようと、社会生活を営んでいくために必要なルールとは何か、またそのルールがなければ社会生活の営みは、このことは、交通の場合においても同様であって、

第一回交通安全村民会議

最近の交通事故の激増は、各村位の周知のとうりでは、各村において、本年に入って百二十件余の交通事故が発生し、死者実に八名、傷者は百二十余名を数え、昨年の事故をはるかにしてのぐ恐るべき事態となつてゐる。一方村民も、村内の交通事故で五名の方が死亡され、村外での交通事故で三名が死亡され、負傷者は数多くを出すという、誠に憂慮すべき村内社会情勢の昨今となっております。

このような社会環境にある大豊村民の一人一人の生活を防衛し、單にドライブ側の安全と交通円滑を目的とする交通安全運動に終始することなく、モータリゼーションのなかににおける安全で平和な村民生活の回復と確保を期し、現代の機械文明における「ヒズミ」

全村民
こぞって 生徒らも悲痛な訴え

是を正し、人間の回復と尊重を計るために、村民各位に交通安全思想が深く認識せられて交通事故の絶滅が期せられることを主眼として、運転者及び歩行者が

採択を決議宣言

◆ ◆ ◆

全村民
こぞって 生徒らも悲痛な訴え



一体となつて「交通安全」を再認識したこの運動を老人から幼児にいたるまで、いれなく浸透させようというもので、まず全員が交通事故の悲惨さを訴ふる映画を観覧した後、会議に入り、大会の進行を受け持つ大会議長に、森山大豊農協組合

た悲しい女子中学生の訴へは、改めて村民の身近な問題としての交通安全対策を提起、このあと村内小学校高学年の「交通安全ブスター」作品の表彰及び、中学生の「交通安全について」の作文の表彰を行なつて、行政課から大豊村の交

表彰された
児童生徒たち

表彰された
児童生徒たち

交通安全意識の高揚を

村長 西岡 治郎

わいい息子、夫や妻を
のうちに奪いさる交通
。何の因果か本年度
に死者一万四千人を越
年うなぎのばりの増加
しております。昨年の
事故の死者は一万四千
二十一人。これはベト
戦争でアメリカ軍の戦
(立って挨拶するの

死者数に匹敵するとい
ております。この数字
でも、まさに戦争なみ
常事態であります。死
かりでなく、けが人は
の累計が五百五十万人
え、死傷者を合すると
海道の人口(五百四十
をはるかに上回る人た
死んだり怪我をしてい
とになります。一日と

交通事故の悲惨さ

いたいほど知らされた

長を選出し開会宣言が行なわれ、西岡村長の挨拶に続いて、本山警察署長から交通事故防止についての発言があった後、大杉中学校生徒三名による「交通安全について」の作文発表がありました。これは、先に村内各中学生に依頼してあつた作文の一部で代表して発表したもので、子供からみた交通安全対策を熱心に披露していました。なかでも、家族の一員を交通事故で失つた悲しさを訴へてゐるものがありました。

交通安全村民会議が無事終了しました。

路上に飛び散つてゐるガラスの破片。見るのも痛ましい破壊された人間の姿。そして前などがひしゃげた車。このような風景が一月に何万となく世界中で見られる。事故にあつた人は亡

ちよつと待てふみ出す前にみきひた

交通事故の悲惨さ

いたいほど知らされた

大杉 中二 西山 佳代

宣
言
決
議

わたくしたちは、も早や見逃すことのできない厳しい交通情勢に対処するため、村民会議の構成員それぞれが所属する組織をあげて次のことを確実に実行します。

一、飲酒運転を絶滅します。

一、組織を通じて、特に老人と子供を交通事故の犠牲としないように努力します。

一、村民を交通事故から守るために、お互いが交通安全運動に積極的に参加します。



西山佳代さん
村民会議で発表する

う言葉が強く服喪に浮かはいつにならざるのうに祖父は翌日、永昼の深な時代は……

あわてるな車のきれめはきつとくる

傷者の出ない日はありません。今なお、三十四秒に一人の割合で死傷者が出ておりまして、「交通戦争」という汚名をもつこの疫病は大都市から農村へと全国津々浦々に至るまで蔓延しています。世界的にみましても、本年度はアメリカに次いで第二位に迫ろうとしています。なぜこのような不名誉な、いたましい事故が増え続けているのでしょうか。この疫病を食いとめる特効薬はないものでしょうか。たしかに人、車、道路の複雑な要素がからみ合っている交通事故ではありますが、これを完全になくするキメ手はないといわれています。しかしながら国民の一人一人の努力次第では、まだく事故を防ぐ余地は残っていると思います。交通事故はもう他人ごとではありません。国民の総てがこの驚くべき実態をよく見きわめて、自分は何をすべきかを問いかけて絶えず安全意識を高め、一人

でも犠牲者を減らし幸せな家庭や明るく平和な社会を豊かで希望のみちた郷土を造ろうではありませんか。

木村におきまして昭和四十四年九月交通安全対策委員会を設置以来各地区に組織され活動しておりま

す、交通法規を守る会など諸団体と共に積極的に対応運動を続けて参りました中、益々交通事故多発の状況を憂慮し、いよく村居情を憂慮し、総ての対策を講じなければならぬと考へ、今午開き、これと同時に児童生徒交通安全を再認識して幾

つうように、村内小中学校の児童生徒の御協力を得て交通安全に關する優秀な作文、図画を提出いただきその一部を本紙に公表して、村民総ぐるみの交通安全意識の高揚をはかり、事故の絶滅を期したいと存じます。提出して下さった児童生徒の皆さんに心からお礼を申し上げます。

あわてるな車のきれめはきつとくる

